

# 市議会 だより

令和5年9月定例会報告

鶴ヶ島市議会



これからも  
市民活動が盛り上がり、  
継続していける「土壌作り」を！

太田ヶ谷の森グラウンドワークによる植樹作業



太田ヶ谷の森グラウンドワークに  
インタビュー

※インタビューの詳細はP17へ

## 目次

特集 令和4年度決算 .....	2
市の考えを問う 一般質問 .....	6
9月定例会報告 .....	14
委員会審査 (条例等) .....	15
委員会審査 (補正予算) .....	15
◆一般会計・特別会計	
市民・団体インタビュー .....	17



議長



大野洋子 議長

※議長は議事進行を行うため、本会議の審議及び採決に加入りません。

監査委員



高橋剣二 議員

※監査委員として、決算を事前に審査しています。

写真

注目する点

- 😊 評価する点
- ☹️ 課題とする点





<p><b>福島恵美 議員</b></p> <p>☹️ 避難所の発電機の故障は命にかかわる問題</p> <p>😊 防災倉庫を全小・中学校体育館付近に設置した</p> <p><b>災害時に市民の命を守る避難所設置</b></p>	<p><b>瀧嶋正徳 議員</b></p> <p>☹️ 感染症対策をしながらの地域交流の活性化対策</p> <p>😊 地域住民や各種団体のコミュニティ活動の増加</p> <p><b>コロナが収束しない中で の財政運営</b></p>	<p><b>村上信吉 議員</b></p> <p>☹️ 鶴ヶ島の魅力を極め、発信すること で人を呼び込むこと</p> <p>😊 鶴つ子サマースクール×大学生 Win-Win事業</p> <p><b>鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり 構想について</b></p>	<p><b>高篠雅洋 議員</b></p> <p>☹️ 一本松駅南口改札の開設推進</p> <p>😊 小・中学校再編（統合）に向けた取組は順調</p> <p><b>地域の課題解決に向けて</b></p>
---	--	---	---

<p><b>杉田恭之 議員</b></p> <p>☹️ 若者から選ばれるまちづくりを！</p> <p>😊 コロナ禍での市政運営はグッド ドライブング！</p> <p><b>時代変化に対して、即応力の維持を!!</b></p>	<p><b>内野嘉広 議員</b></p> <p>☹️ 一本松駅南口開設に向けて、視察成果をどう生かす？</p> <p>😊 優先順位に基づいた道路長寿命化推進事業</p> <p><b>一人残らず学ぶ教室！ 学び合い学習の推進</b></p>	<p><b>長谷川清 議員</b></p> <p>☹️ 市長の重要施策と市民要望の不一致</p> <p>😊 コロナ禍にせつせと貯蓄に励む 勇氣</p> <p><b>鶴ヶ島市の市民サービス が低い理由</b></p>	<p><b>大曾根英明 議員</b></p> <p>☹️ 次世代を担う子どもたちへの教育・支援の不足</p> <p>😊 コロナ禍における各支援施策の 拡充</p> <p><b>次世代へしっかりとつな げるか</b></p>
--	--	---	---

# 令和4年度決算特集

# 議員の視点！ お金の使い道！

審査内容の詳細は、4、5ページに記載

 <p>太田忠芳 議員</p> <p>☹️ 財政調整基金に積み立てるより単独の福祉施策の検討を</p> <p>😊 財政指標が良好なのは良いです</p> <p><b>実質単年度収支の数年来の増</b></p>	 <p>小島幸広 議員</p> <p>☹️ 市民要求に応えた施策の提案と実行</p> <p>😊 市財政健全度の維持が図られている</p> <p><b>福祉の向上、学校教育の施策について</b></p>	 <p>小川尋海 議員</p> <p>☹️ 時代遅れの市政。市民の生活を豊かにすべき</p> <p>😊 広い道路、立派な公園、豊かな鶴ヶ島市</p> <p><b>肥える自治体、貧しい市民</b></p>	 <p>今野雄一 議員</p> <p>☹️ こども医療費助成制度の18歳までの拡充</p> <p>😊 臨時交付金を活用した子育て世代等への支援</p> <p><b>少子高齢化への具体的な取組</b></p>
--	---	---	--

 <p>小林ひとみ 議員</p> <p>☹️ 特定検診やがん検診の検診率を上げることが課題</p> <p>😊 健康寿命延伸のための様々な事業が実施できた</p> <p><b>健康づくりのための取組は</b></p>	 <p>山中基充 議員</p> <p>☹️ マイナンバーカード普及等進む整備、進めぬ実装</p> <p>😊 市民税増！感染症、戦争、有事に光る市民の底力</p> <p><b>決算審査は終わりではなく始まりに</b></p>	 <p>出雲敏太郎 議員</p> <p>☹️ 市職員の公用車での事故が多い(10件)</p> <p>😊 市民の健康づくりを着実に推進</p> <p><b>市民目線での事業の成果</b></p>	 <p>小川 茂 議員</p> <p>☹️ 一本松駅南口の開設が進んでいない</p> <p>😊 新町小学校区の学童保育室を整備するなど、子育て環境の向上が図られた</p> <p><b>様々な課題に向き合う事業</b></p>
--	--	--	---



## 一般会計

歳入  
約264億1692万円

歳出  
約246億4133万円

令和4年度の一般会計決算と特別会計決算（5議案）は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。

委員会での審査結果は、いずれも「認定すべきもの」で、最終日の本会議での採決の結果、いずれも認定されました。

## 一般会計

### 職員研修事業

Q 執行率が78・4%と若干低い理由は。

A 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの研修がオンラインやオンデマンドに変更され、会場に向く必要がなくなり、旅費の執行率が低かったなどの原因がある。

### 行政システム活用推進事業

Q デジタルトランスフォーメーションを踏まえた一層の情報化推進のための強固な地盤を構築するとは具体的に何か。

A 事務の効率化の仕組を導入するため、大容量、高速化に対応した機器を選定し、ウェブ会議の開催などを可能とした。また、埼玉県自治体情報セキュリティクラウドの更新により、インターネットを安全に利用できる環境を構築した。ほかにも専門的知見や技術などを持った外部人材を多く配置することにより、各課を支援する体制をとった。

### 鶴ヶ島駅周辺地区まちづくり構想等策定事業

Q 委託先の選考理由は。

A 提案価格が最も安価で、事業化に向けた提案が地区の実情を踏まえた具体的かつ現実的な内容であった。また、地域住民等の意見聴取の機会が多く、丁寧な策定プロセスであったことなどが挙げられる。

Q 今後の課題や留意点は。

A 5年間の長期計画であるため、適切な進行管理を行い、国の財源を効果的に活用できるように調整する必要がある。また、地域住民などと議論を重ねながら、行政と市民が一緒になってまちづくりを進めることが重要である。



鶴ヶ島駅西口

### 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業

Q 執行率が低い理由は。

A 補助の漏れが発生しないように対象者数を多く見積もっていた。全ての対象者に給付金は行き渡っている。

### 民間保育所等運営支援事業

Q 保育ステーションの送迎の利用状況は。

A 4年度の利用状況は、登録児童数が17人で利用児童の延べ人数が2998人である。

Q 事故の発生は。

A 数年の間報告はなく、安全に運行している。

### 健康長寿推進事業

Q 具体的な成果は。

A 県コバトン健康マイレージの参加者を増やすため、11月の歩数強化月間に規定歩数以上歩いた市民に対して抽選会を実施した結果、前年度より1129人増加した。また、ラジオ体操教室の実施や地域ラジオ体操会新規立ち上げ支援を行い、5か所で新たなラジオ体操会が立ち上がった。

Q シルバースポーツの認知機能維持効果の検証は。

A 筑波大学の関係会社に委託し検証したところ、シルバースポーツが情報処理速度の改善、短縮に対して有効であり、

また、共通の趣味を楽しむ情報を交換し合うことで、要介護化の抑制や情報格差の是正につながっていくと推察されるとの結果が出た。



### 感染症予防対策事業

Q 風疹の抗体検査及び予防接種の、無料クーポンの送付を受けて、予防接種をしたのか。

A 元年度から5年度7月末まで、対象者が9102人、そのうち3186人が抗体検査を実施した。また、このうち抗体価が低く接種が必要な700人のうち、578人が予防接種を受けた。

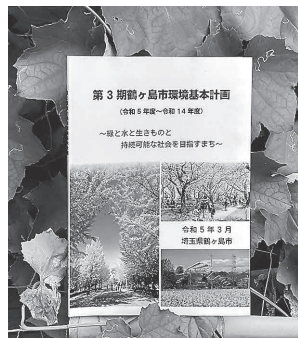
### 環境基本計画策定事業

Q コンサルタントを使う必要性は。

A 第2期環境基本計画の策定から10年経ち、政府がより明確に二酸化炭素抑制のための指針を打ち出すなどの変化があ



り、専門的見地からの対応が必要と判断した。



第3期鶴ヶ島市環境基本計画

で運行しているところである。現在、運転手が高齢化しているため、若手の運転手の確保が必要である。加えて、利用者の高齢化がさらに進むと、運賃収入が減り、運行経費に対応する市の負担金が増えていくことが想定される。利便性の向上を図りつつも、市の負担額をいかに抑えていくかが課題である。

## ふるさと振興発信事業

**Q** 現状の費用に対する効果とお金で表せない効果は。

**A** 令和4年度の寄附の受入額と決算額の単純な差引による利益は約1億5150万円である。4年度は寄附金を活用し、約2億2600万円を市内事業者の育成などの事業に充当し、事業を実施した。また、関連イベントに出展し、本市のPRを行うなど相乗効果を狙ったシテイプロモーションを行った。

## 市内公共交通運行事業

**Q** 過去最多の利用者となったことだが、現在の課題は。

**A** 決まった時間帯において混雑していたため、4年度に利用実績などを踏まえた見直しを図り、本年6月より新ダイヤ



つるバス

**Q** バスローテーションシステムの効果は。

**A** 利用者が運行状況などを運行事業者や市に問合せをしていた手間が省けるとともに、閲覧画面に代替車での運行や台風による遅れなどのお知らせを表示することで、利用者の利便性や安心感が向上した。

## いじめ対策・不登校支援等総合推進事業

**Q** どんな調査でいじめの認知件数を捉えているのか。



**A** hyperIQUのいじめ対策項目などの調査及びスクールカウンセラーの校内巡視などからの情報を総合的に見ることで、いじめなどの認知を行っている。

**Q** 登校できるようになった児童・生徒数は。

**A** 小学生1名、中学生が1名が教育支援室アペルトから学校に戻ることができた。

## 小学校・中学校鶴つ子サマースクール×大学生WIN-WIN事業

**Q** 執行率が小学校で76・6%、中学校で66・6%だが、応募が少なかつたのか。

**A** 学習指導補助員にあたる大學生の確保を見込んだところ、大学の試験日程と重なったこと、あるいは学期最後の授業を実施する大学が多く、サマースクールの第1スクールの大学生の応募が定員に達しなかった。

## 特別会計

### 国民健康保険

**Q** 税率改正の見直しは。

**A** 埼玉県では、9年度から県内市町村の保険税率の統一を目指しており、それまでにそれに見合う標準保険税率となる。

現在かなりの乖離があるが、これをすぐに埋めると、被保険者への影響がかなり大きくなる。段階的に税率改正をし、その額に引き上げる準備を進めている。

### 後期高齢者医療

**Q** 本市の特色は。

**A** 被保険者の医療費は、高齢者数の増加で、7・5%増加したが、一人当たりとする

0・2%減少した。健康意識の高さが医療費の抑制につながっていると考える。



## 介護保険

**Q** 配食サービスの助成対象者へのPR方法は。

**A** ケアマネジャーへ案内書の配付や、会議に出席して説明している。また、市民向けに広報紙やホームページなどに掲載して周知している。



## 特別会計決算

### 国民健康保険

歳入 約68億413万円  
歳出 約66億8993万円

### 後期高齢者医療

歳入 約9億8613万円  
歳出 約9億8405万円

### 介護保険

歳入 約46億8635万円  
歳出 約43億8445万円

### 一本松土地区画整理事業

歳入 約1億1329万円  
歳出 約1億5万円

### 若葉駅西口土地区画整理事業

歳入 約3億1407万円  
歳出 約3億949万円



# Q 生活保護を当たり前の権利に

おおた ただよし  
太田 忠芳 議員



# A ためらわず申請いただけるよう 制度の普及啓発を行っていく

# 市の考えを問う 一般質問

9月15日・19日・20日・21日の4日間行われた一般質問の主な質問(Q)と答弁(A)の概要を掲載します。詳細は、QRコードから録画中継をご覧ください。

申請する際の注意点は、申請の意思を示した相談者のサポートをする。聞き取りによる申請書の作成や訪問して申請を受けるなど、臨機応変に対応している。

**問** 申請後の調査内容に①資産、②能力の活用、③親族への照会、④他の制度活用の項目があるが、問題となることは。

**答** 申請後に資産調査を行い、資産を売却や活用して最低生活費に充てることもあると説明し、自動車や持家については保有の可否を丁寧に説明している。また、ケースワーカーが主治医などに病状や就労の可否などについて意見を聞き、今後の支援を検討する。親族への照会は、DVや著しい関係不良、虐待などの特別な事情がある場合には、照会を見合わせることもあるため、相談するよう説明している。他の制度で活用

**問** 申請する際の注意点は、申請の意思を示した相談者のサポートをする。聞き取りによる申請書の作成や訪問して申請を受けるなど、臨機応変に対応している。

**問** 申請後の調査内容に①資産、②能力の活用、③親族への照会、④他の制度活用の項目があるが、問題となることは。

**答** 申請後に資産調査を行い、資産を売却や活用して最低生活費に充てることもあると説明し、自動車や持家については保有の可否を丁寧に説明している。また、ケースワーカーが主治医などに病状や就労の可否などについて意見を聞き、今後の支援を検討する。親族への照会は、DVや著しい関係不良、虐待などの特別な事情がある場合には、照会を見合わせることもあるため、相談するよう説明している。他の制度で活用



生活保護のしおり



市内の水害の状況

可能な制度がある場合には、優先して活用するよう説明している。

**問** 生活保護利用者の権利は。

**答** 正当な理由なく生活保護費の減額や廃止がされないこと、受給した保護費や物品に対して、課税や差押えがされないことなどがあ

**問** 生活保護利用者の義務は。

**答** 生活上の義務、指導、指示に従う義務、届出の義務がある。

**問** 災害発生時、職員の初動対応については。

**答** 各避難所に駆けつける職員を3人指定しており、避難所の被害状況や危険箇所を確認し、避難所が開設できる場合は、防災倉庫等にある資機材を使用し、住民や教職員とともに開設準備をする。

**問** 避難所へ駆けつける職員の女性割合は。

**答** 50・7%である。

**問** 個別避難計画の作成状況については。

**答** 7月末現在の避難行動要支援者数は1655人で、そのうち336人が作成済みである。1人の要支援者を複数の支援者が見守り、支える仕組みづくりが重要と考え、要支援者と支援者の方々が一堂に会して、お互いの顔と顔が見えるチームづくりを行っているため、計画作成に多くの時間を要している。

**問** 災害発生時の教員の対応については。

**答** 教職員と児童・生徒が緊急時に安全かつ迅速に動くことができるように、様々な場面を想定した避難訓練を定期的に行っている。今後も訓練の重要性を周知し、自分の命は自分で守る力の育成に努める。

◎**その他の質問** 土地利用構想の現状は

## A 防災力を高め、災害に強いまちづくりを推進する

## Q 災害対策と行政の役割について

たぎしま まさのり  
瀧嶋 正紀 議員



# Q 書かない窓口の導入 について

やまなか  
山中 基充 議員



# A 窓口業務のデジタル化を 着実に実施

書かない窓口は、自治体の窓口での証明書の請求や届出をする際にマイナンバーカードを活用し、申請書を書かずに手続きでき、多言語対応も可能で外国人住民のサポートにもなる。デジタル田園都市構想での好事例の横展開であり、国からは、自治体窓口DX SaaSの提供が行われる。

書かない窓口の導入は、2月から転出入のワンストップが全国で開始した。それに伴い本市では3月から住民異動と連携し、国民健康保険や子ども医療などの手続きに市独自の書かない窓口を導入している。

デジタル化による書かない窓口業務の実施、そしてオンライン手続き充実は、北海道三笠市で市役所が向う移動市役所として行っている。この取組への市の見解は。



市民課窓口

答 まずは、書かない窓口により市民の利便性を向上させる。最終的には書かない窓口から、来庁しなくても済む窓口を目指したい。すぐには追いつかないが、個人情報の取扱いなどに注意しながら、着実に進めていきたい。

◎その他の質問

- 一 チャットGPTの活用を
- 二 一部事務組合の今後は
- 三 不要になった新型コロナ対策のパーティション等について

# Q 小・中学校における水泳 授業のあり方

おがわ 小川 茂 議員



# A 様々な形態で授業を実施し さらに効果を検証していく

問 民間施設での試行の現状について。

答 今年度は、鶴ヶ島第二小学校、新町小学校、栄小学校及び南中学校の4校を対象に、鶴ヶ島駅周辺の民間スポーツ施設を活用した水泳指導を試行的に実施している。このうち、鶴ヶ島第二小学校及び栄小学校は1学期中に全ての日程を予定どおり終了した。

問 民間施設での試行の現状に  
ルートの確認やそれに対する安全対策、カリキュラムの変更、施設での指導内容や評価の方法など、学校だけでなく、施設や事業者と様々な調整を行った。関係者の連携により、概ね予定されたスケジュールどおり授業が実施されているものと認識している。

答 泳力検査の結果や子どもたちが記載する学習の記録、インストラクターからの情報収集に加え、プールサイドからの見取りの結果、これらを総合的に判断して、教員が評価、評定を行っている。





## Q 行政のカタカナ語の多用について

すぎた やすゆき  
杉田 恭之 議員



## A わかりやすい文書などの作成に努める



**問** カタカナ語の使用基準について。

**答** 鶴ヶ島市公文例規程で用字用語及び文体の基準を規定している。その中で「特殊な言葉を用いたり、堅苦しい言葉を用いることをやめて、日常一般に使われている易しい言葉を用いること。」と規定している。

**問** カタカナ語を使用する際の配慮は。

**答** わかりやすい日本語に言い換えが困難なカタカナ語には、必要に応じカタカナ語の理解を促す配慮をしている。例えば、欄外に注釈をつけるなどの配慮をしている。

**問** 学校教育での使用基準と配慮は。

**答** 小・中学校の学習内容は、

学習指導要領に定めている。小

学校の国語の授業では「外来語は一般的に片仮名で書き表す」ことを学んでいる。中学校では相手や場面に応じて適切な語を選ぶことの大切さを学習する。また、新しい外来語は場合により、和語、漢語に言い換えると良い事も学んでいる。

**問** 今後の対応について。

**答** 今後も鶴ヶ島市公文例規程などに基づき、読み手である市民の皆様がわかりやすい文書などの作成に努める。

## Q 緑豊かな鶴ヶ島の魅力のアピールを

むらかみ しんきち  
村上 信吉 議員



## A 公園緑地に関する予算を計上し、自然の保全を進めていく

**問** 緑の豊かさ、市民の森の捉え方について。

**答** 樹林地を市民の森として土地所有者から借用して、市民が安全に利用できるよう適正な管理を実施している。今後とも公園予定地などの整備を計画的に進め、緑地の効果的な配置や活用、維持管理に努め、身近な緑

などの自然と調和したまちづくりを進めていく。

**問** 緑を守るボランティア団体、個人等の活動について。

**答** 樹木の管理や市民の森を活用したイベントの開催などを通じて緑の保全活動の継続が緑への愛着を深め、意識を醸成し、市と連携した緑の保全につなが



太田ヶ谷の森

っていくと考えている。引き続き、緑を守る活動に関わる方々と連携、協力しながら、緑の保全に取り組んでいく。

**問** 今後、鶴ヶ島の緑の豊かさをアピールする施策について。

**答** 緑と水の自然環境保全、健全な生物多様性の保全、身近な緑の保全などをオール鶴ヶ島で着実に進めることが身近な緑のアピールにつながると考える。

### ◎その他の質問

一 鶴ヶ島市の魅力の向上施策について

二 地方創生臨時交付金のゼロカーボン推進補助金について

## Q ナラ枯れ被害への対策について

うちの  
内野 嘉広 議員



## A 緊急性の高いものから順次伐採を行っていく

**問** 本市におけるナラ枯れ被害の現状について。  
**答** 市が管理する公園、緑地や個人が所有する民有林等での被害を確認しているが、被害状況など詳細な把握は困難である。なお、公園、緑地などで確認しているナラ枯れ被害木のうち、倒木のおそれのあるものは、緊急性が高いと判断して伐採している。現状を踏まえたナラ枯れ対策について。

**答** 策について。日常の巡回点検や維持管理作業の中で異常箇所などを把握し、施設利用者や隣接する住宅、道路交通などへの影響を考慮して倒木のおそれがある緊急性の高いものから順次伐採を行っている。民有林は、市ホームページで被害の見分け方、防除の方法、被害情報などの提供に努めている。



ナラ枯れによる倒木

## Q 魅力ある学校図書館とは

こばやし  
小林ひとみ 議員



## A 全校に司書教諭を配置し、計画的に蔵書を整備

**問** ナラ枯れ樹木の伐採や健全な樹木の防除への森林環境譲与税の活用について。  
**答** ナラ枯れの対応への森林環境譲与税の活用は可能である。被害状況などを踏まえ、他市町との情報共有を図りながら、活用を検討していく。

**問** 伐採箇所への植樹について。  
**答** 新たな植樹には、落葉などの問題や課題もあるため、地元と調整しながら進めていく。

**問** 子どもたちが最も身近で本との出会いを作ることができる学校図書館の蔵書の整備状況は。  
**答** 文部科学省が公立小・中学校の学校図書に整備すべき蔵書の標準として学校図書館図書標準を定めている。この標準に対する令和4年度末時点の市内の図書充足率の平均は、小学校で86・4%、中学校で90・8%である。公益社団法人全国学校図書館協議会が定めた標準分配比率を基に計画的に整備している。

**問** 司書教諭や学校司書の配置状況は。  
**答** 学校図書館法で12学級以上の学校に司書教諭の配置が義務付けられている。本市では、全ての学校に司書教諭と学校司書を配置している。

**問** 図書を購入する際、子どもたちの意見は反映されるのか。  
**答** 子どもたちが、購入する本を選ぶ選書会を実施することで意見を反映している。

**問** 本の楽しさを伝えるための指導は。  
**答** 朝の時間を活用した全校一斉読書や学校応援団による読み聞かせ、校内読書週間などを実施している。そのほかにも様々な取組を行っている。

◎**その他の質問** 子宮頸がん撲滅のために



学校図書館





上広谷児童館

## Q 市内児童館の駐車場の改善を

この今野 ゆういち 雄一 議員



## A 少しでも駐車しやすくなるよう、検討していく

**問** 市内児童館では、乳幼児親子参加型の定例行事が積極的に実施されている。利用者の満足度は。

**答** アンケート結果では「イベントが楽しい」など、100%に近い保護者が「満足している」との結果となっている。

**問** 多くの親子が児童館で過ごす時間を必要としており、児童館の役割は大きくなっていると考えられるが。

**答** 子育て支援の機能が大変求められている。時代に沿った児童館を常に模索している。

**問** 上広谷児童館の利用者が最も多いが、駐車場の台数が最も少ない12台である。スペースも狭いため、駐車トラブルが多くなっている。駐車場改善の整備

予定は。

**答** 11月から埼玉県全域で思いやり駐車場制度が実施される。

現在は、砂利の駐車場であるが、今後とも利用しやすい駐車場の在り方を考えていく。

**問** 上広谷児童館近隣の若葉駅西口2号街区公園予定地の一部を駐車場としての活用を。

**答** 常時駐車場としての利用は難しいが、緊急な場合などには、関係部署と連携し、対応する。

◎**その他の質問** 一時的ストーマの助成制度を

## Q 子どもへの施策について

おおそねひであき 大曾根英明 議員



## A 関係機関と連携して取り組んでいる

**問** 全ての子どもたちの将来を夢と希望にあふれたものにするための子どもの貧困対策について。

**答** 食料支援などの情報発信サイトを運営するNPO法人カローレに、運営費用の一部を補助している。また、子育て家庭の経済状況についての相談には、

利用可能なサービスを案内し、関係機関が連携し対応している。

**問** 貧困の連鎖を断ち切るために、学習支援や就学援助など様々な事業を実施し、貧困が世代を超えて連鎖しないよう必要な事業を実施していく。

**問** ヤングケアラーの現状について。

**答** 学校では、教職員が研修を通して理解を深め、早期に発見し、適切な支援につなげるよう努めている。

**問** 子どもの自殺について。

**答** こども大綱の策定を見据え、施策の具体化に向けた検討を進める。鶴ヶ島のち支える自殺対策計画において、子ども、若者への支援を重点施策とし、相談支援の推進、児童・生徒のSOSの出し方に関する教育の推進に取り組んできた。今後も特定非営利活動法人自殺対策支援センターライフリンクとも連携しながら取り組んでいく。



## Q 義務教育の保護者負担 軽減について

おがわ  
小川 尋海 議員



## A 改めて見直しを指示していく

**問** 隠れ教育費について、実態と負担軽減の取組は。

**答** 保護者が負担する教材等の平均額は小学一年生で3万円弱、中学一年生で8万円強である。

個別に教材を用意してもらう際は、学校で複数の業者を案内したり、家にあるものを活用してもらったりするなど工夫をしている。学習用端末に個別学習ドリルを導入しており、教材購入

の負担削減になっている例もある。改めて校長会で費用負担削減のために見直しを指示していく。

**問** PTAについて、実態と負担軽減の取組は。

**答** 保護者の約20%が役員をしている。多くの保護者に参加してもらうために一度は役員をやるといような暗黙のルールもあるが、強制的なものではないと認識している。活動回数は学

School supplies



## Q 仮称「つるの駅構想」は どうなってる！

はせがわ きよし  
長谷川 清 議員



## A 令和6年度後半から7年度後半に 実施予定

校によって3倍弱の差があるが、事業報告の書き方によるため単純比較は難しい。コロナ禍で委員会の削減や定期総会の書面評決など、活動内容の見直しが行われた。教育委員会はPTAの求めに応じて助言や指導を行っており、引き続き支援をしていく。

◎その他の質問

一 市公式アプリ「つるのポッケ」について

二 喫煙対策について

**問** 鶴ヶ島市の未来をにかけて、市長が市の最重要施策として実施する「つるの駅構想」の進捗状況は。

**答** 本構想は、食をテーマとする企業を誘致して、活気とにぎわい、憩いの拠点を創出することが目的である。

現在、「生鮮食料品マーケット」、「地元野菜の直売所」、「カフェ、レストラン」、「日帰り温泉施設」などが提案されている。現在、事業者が具体的な提案をもって地権者との合意形成に取り組んでいる。工事実施時期は令和6年度後半から7年度後半にかけてとの提案を受けている。

**問** 市街化調整区域における開



(仮称)「つるの駅」構想予定地

発行行為である本事業の法的許可のハードルは極めて高く、本企画が市長の空想、妄想の類に思える。例えば、何の説明もされていないが、日帰り温泉施設はどのように許可されるのか。

**答** この事業を現実的で先駆的な事業と考えている。

日帰り温泉施設の開発は、温泉の湧出後に審査及び許可がされるため、まずは温泉を掘削することが必要である。

仮に今回の提案がうまく進まなくても、問題点などを研究した上で、次のチャレンジをしていく。



**Q** 带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成を

こじま ゆきひろ  
小島 幸広 議員



**A** 坂戸鶴ヶ島医師会と実施に向けて準備を進めている



**問** テレビコマーシャルで頻繁に目にするほど带状疱疹を発症する患者が多くなっていると考えられるが、実態は。

**答** 国民健康保険及び後期高齢者医療制度において、令和4年6月から5年5月の間に带状疱疹予防接種の対象である50歳以上の被保険者で診療を受けたのは、363件である。

**問** 各地方自治体の助成実施の状況は。

**答** 5年4月現在、63市町村中14市町、うち西部11市では、2市が実施している。50歳以上を対象として、生ワクチンは1回、不活化ワクチンは2回の助成を行っている。

**問** 国の動向待ちでなく、独自の助成制度の確立を。

**答** 国の審議会で定期予防接種化を検討するワクチンとして、効果や導入時期に関して検討している。現在は、予防接種法に基づかない任意接種の位置付けになっており、個人の意思において全額自費で接種するというのが基本的な考えである。

そのような中、坂戸鶴ヶ島医師会から助成制度導入に関する要望書が本年7月に出された。6年度からの助成の実施に向けて同医師会と調整を行うなど、既に準備を進めている。

**Q** 再編後の西中学校校庭の活用について

たかしの まさひろ  
高篠 雅洋 議員



**A** 様々な意見を伺いながら、基本構想をまとめていく

**問** 市民陸上競技記録会の参加者の推移は。

**答** 5年度は73人延べ112人の参加で、減少傾向にある。

**問** 記録会の運営状況は。

**答** NPO法人鶴ヶ島市スポーツ協会が川越市の陸上競技場で開催している。

**問** 駅伝競走大会の会場は農業

交流センターが中心だが、参加チーム数が多いと、道路が狭く危険な状態と危惧しているが参加者の動向、運営状況は。

**答** 4年度は過去最多の65チームが参加し、増加傾向にある。スタート時が課題であると市スポーツ協会から報告があった。

**問** グラウンドゴルフなどの高

齢者向けスポーツ施設の確保や整備が重要と考えるが。

**答** 西中学校跡地への機能移転に際し、検討していきたい。

**問** 複合施設（旧西中学校）基本構想策定に向け、陸上競技トラックの整備は、陸上競技、グラウンドゴルフ場等、多種多様なメリットが大きいと思うが。

**答** スポーツ振興の面から、今後検討していきたい。また、様々な意見を伺いながら基本構想を整えていきたい。

◎**その他の質問** 飼い犬の散歩中におけるマナー違反対策について



西中学校校庭

**Q** 災害時に正確な情報を迅速に伝える為に

ふくしま  
福島 恵美 議員



**A** さまざまな課題がある

**問** 災害時情報の多言語版を紙ベースで用意しておくことについての見解は。

**答** 本市では多言語化したものは配布していない。現在ホームページ掲載の準備を進めている。

**問** 災害時デマは時に深刻な事態を招くことを歴史の教訓として教える必要がある。市内中学校で使われている歴史の教科書に、関東大震災はどのように記

述されているか。

**答** 「混乱の中で朝鮮人や社会主義者が井戸に毒を入れた、暴動を起こすといった流言が広がり、多くの朝鮮人、中国人や社会主義者が殺されました。」と記述されている。

**問** 自治体の長が間違った歴史観を持っていると行政や社会教育の方向性が狂い、大規模災害時の対応を間違えよう。関東大震災

時の対応を間違えよう。関東大震災



時の虐殺事件について、齊藤市長はどのような認識を持っているか。また、虐殺された人たちへの追悼の言葉を。

**答** 市において事実関係を把握できる記録は見当たらない。差別的言動や差別による暴力・犯罪は許されないと認識している。

◎その他の質問

- 一 生活困窮世帯へ支援を
- 二 生成AI利用の指針
- 三 自殺対策の優先順位

**Q** 言語通級指導教室に通う家庭に支援を

いずもびんたろう  
出雲敏太郎 議員



**A** 新たな通級指導教室の開設を進めていきたい

**問** 保護者が送迎できないために通級指導教室に通えない子どもはいるのか。

**答** 難聴・言語は1人、発達・情緒の通級指導教室を含めると小・中学校合計で5人が通えていない状況にある。

**問** 言語通級指導教室を複数校に設置を。

**答** 開設には備品の整備などの費用もかかるため、市長部局と連携しながら進めていきたい。

**問** 教育部に対し、積極的な財政的支援を。

**答** 通級指導教室の拡張の必要性は認識している。教育部の予算が膨らんでいる面もあるため、調整を図りながらバランスよく



通級指導教室の様子

進めていきたい。

**問** 保護者の負担軽減のためにオンライン通級指導教室の導入を。

**答** 実施の可否を検討していきたい。

**問** ファミリーサポートセンターの提供会員が少なく、送迎に利用できないとの声を頂いている。さらなる周知を。

**答** 今後も引き続き広報を続けていきたい。

◎その他の質問

- 一 防災体制の強化について
- 二 子ども達の「確かな学力」を育むために





議案等 番号	議案等の名称	議員名等	審議 結果	新政クラブ			つるがしま未来		公明党		日本共産党		賛成	賛成せず			
				小川茂	瀧嶋正紀	村上信吉	杉田恭之	高橋劍一	出雲敏太郎	高篠雅洋	内野嘉広	大曾根英明			今野雄一	小林ひとみ	山中基充
議案 第56号	令和4年度鶴ヶ島市坂戸都市計画事業若葉駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認定に 決す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0		
議案 第57号	市道の路線の認定について		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17	0		

## 委員会審査

### 条例等

**議案第47号**  
鶴ヶ島市印鑑条例の一部を改正する条例について

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機で電子証明書が記録されたスマートフォンを使用して印鑑登録証明書を取得できること等するものである。

**Q** いつ頃から利用可能か。

**A** 本年10月以降を予定している。

**議案第48号**  
鶴ヶ島市空家等の対策に関する条例の一部を改正する条例について

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正に伴い、鶴ヶ島市特定空家等対策審議会に諮問する事項に管理不全空家等の所有者等に対する勧告に関するものを追加するものです。

**議案第57号**  
市道の路線の認定について

道路法第8条第2項の規定によるものです。

## トピックス TOPICS 補正予算

令和5年度の一般会計補正予算を1件及び介護保険特別会計補正予算1件が可決されました。

### 一般会計(第5号)

#### 思いやり駐車場整備事業

**Q** 障害者など歩行が困難な方に対して利用証を交付し、駐車区画の適正利用を推進することのだが、交付費用と時期は。

**A** 対象者には、申請に基づき11月1日から、無償で交付する。

**Q** 利用証の申請窓口は。

**A** 障害者手帳をお持ちの方は障害者福祉課、要介護認定1以上を受けている方は介護保険課、妊産婦の方は保健センターで申請を受け付ける予定である。

**Q** 他の都道府県との今後の相互利用は。

**A** それぞれが独自の利用証を発行しており、埼玉県が、既存の41府県と相互利用の協定を結んだ上で県ホームページ上でも発表していく。

### 放置自転車防止対策・リサイクル事業

**Q** 一本松駅周辺の放置自転車の状況は。

**A** 一本松駅周辺の公道上では、4年が8台、5年が4台。北側の自転車置場内で放置され撤去したのは4年が23台、5年が15台となっている。



一本松駅仮設自転車置場

**Q** 南側に新規で設置する自転車置場と北側に2か所ある自転車置場との兼ね合いは。

**A** 自転車置場の利用状況を調査したところ、駐車台数は十分足りている。また、利用者の半分が南側から移動して置いていることが分かった。南側の自転車置場を開設後、時期を見て北側の2か所のうち1か所の閉鎖を考えている。

### 介護保険特別会計(第1号)

介護給付費準備基金積立金に要する経費、介護給付費等償還金に要する経費等を補正するものです。

## ぜひ傍聴に！

市議会では、予算の決定、条例の制定・改正・廃止など市の意思決定や、議員による一般質問などを行っています。

議会事務局（市役所庁舎3階）で傍聴券に住所・氏名をご記入いただければ、傍聴することができます。本会議場の定員は60人で、先着順に受け付けています。ご不明な点がございましたら議会事務局までご連絡ください。

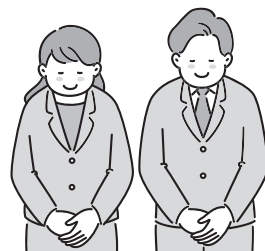




# アンケート調査にご協力ください。

これからの議会だよりの編集に活かすために11月30日(木)までの間でアンケート調査を行います。読者の年代や現状の議会だよりに対する意見などを調査し、レイアウトの見直しなどを検討しています。以下のQRコードを読み取り、アンケートにご回答ください。また、お電話で回答いただくことも可能です。以下の電話番号へご連絡ください。以下より良い議会だよりの作成にご協力をお願いします。

アンケート結果は、次号以降に掲載する予定です。



電話番号 271-1111 内線361

入力フォーム

スキャン 確認 完了

議会だよりに関するアンケートへのご協力をお願いします。

Q1. 年齢 必須

10代以下

20代

30代

40代

50代

60代

70代

80代以上

Q2. 市議会だよりを読んでいますか 必須

頻りに読んでいます

時々読んでいます

ほとんど読んでいません

実際の回答フォームです。

## 用語解説

●定例会……定期的に招集される議会のことです。地方自治法により条例に定める回数を招集することになっています。本市では、年に4回と定め、3月、6月、9月及び12月に開会しています。

●常任委員会……議会に提出された議案などを専門的、能率的に審査するために、設置される議会の内部機関のことです。また、特定の事案についてより詳細に審査するために「特別委員会」を設置することがあります。

●決算……各年度ごとの収入と支出の実績のことです。議会の認定を経ることで確定します。本市議会では、9月議会、総務産業建設常任委員会、文教厚生常任委員会及び予算決算常任委員会において審議し、本会議の議決をもって認定とします。



令和5年7月15日、夏の全国交通安全運動における街頭指導に参加しました。



鶴ヶ島市議会交通安全推進議員連盟として

## こんな活動もしています

9月29日、秋の全国交通安全運動における街頭指導に参加しました。



## 次回定例会のお知らせ

今回の令和5年第4回定例会は、11月27日(月)に開会の予定です。

議会の日程は、開会日の5〜2日前に決定し、市のホームページのほか、市役所1階の議会情報公開コーナーなどでご案内します。

ホームページはこちら

鶴ヶ島市議会

検索



## 一般質問記事に

### QRコードを

今回から一般質問記事にQRコードを掲載します。タイトル付近にあるQRコードを読み取ることで、ホームページにある録画中継をご覧になれます。議会だよりは伝えきれないやり取りを見ることが出来ます。ぜひご覧ください。



## 贈らない 求めない 受け取らない

選挙の有無にかかわらず、政治家が選挙区内で寄附を行うことは、特定の場合を除いて一切禁止されています。有権者が求めてもいません。ご注意ください！

禁止されている寄附の例

- ・ 葬式への花輪や供花
- ・ お歳暮やお中元、入学祝いや出産祝いなど
- ・ お祭りやスポーツ大会への寄附や差し入れ
- ・ 自治体等が行う募金に応じることなど

## チャレンジする人を応援する鶴ヶ島に



太田ヶ谷の森グラウンドワークによる植樹作業

市民・団体  
インタビュー

太田ヶ谷の森  
グラウンドワーク

×

市議会

「豊かな自然を守り、次代に  
なきたい」という思いの方々に  
よって発足した、太田ヶ谷の森  
グラウンドワーク。  
令和5年6月30日（金）に、  
太田ヶ谷の森グラウンドワーク  
の方々にインタビューを行いま  
した。



フラワーレンズおたがや、  
大谷川源流の会、鶴ヶ島の自然  
を守る会、NPO法人つるがし  
ま里山サポートクラブ、サザン  
地域支え合い協議会と鶴ヶ島市  
とのパートナーシップで構成さ  
れ、鶴ヶ島グリーンパークや地  
域自然環境の保全・活用の充実  
を目指しています。

### ●日頃の活動から思うこと

活動の大半が草刈りや清掃な  
どの作業ですが、皆で美味しい  
おにぎりを食べたり、楽しみな  
がら活動しています。昆虫や水  
辺の生き物の観察や森での各種  
イベントも開催しており、子ど  
もたちに自然との共生を学んで  
もらい、森を大切にしていまし  
てほしいです。また、市が目指し  
ている「ゼロカーボンシティ」  
へ向け、私たちの行っている植  
樹や自然環境保全活動で貢献で  
きると考えています。

### ●保全活動の継続へ

鶴ヶ島グリーンパークの保全  
・活用の継続には、多くの費用  
と人材が必要です。地域住民が  
主体となり、行政と地元企業と  
協力し、地域全体で取り組むこ  
とが重要です。また、大谷川源  
流地域の太田ヶ谷の自然保全だ

けに限らず、宅地開発の進む地  
域などの大谷川沿いの生態系の  
保全も大切だと感じています。

### ●議員に一言

身近にいる議員さんに、小さ  
いことも気軽にお願いしていま  
す。もっと頻繁に参加して頂け  
ると嬉しいですが（笑）。

私たちが住みよい街づくりへ  
貢献したいとの思いで市民活動  
を行っています。その活動を様  
々な面で応援していただきたい  
です。これからも市民活動が盛  
り上がり、継続していける「土  
壌作り」を進めてほしいです。

### ●自然とまちの調和を目指して

鶴ヶ島市は商業施設や豊かな  
自然もあり、調和のとれた住み  
やすいまちです。交通面でも恵  
まれ企業の進出も見込まれてい  
ます。特色を生かしたまちづくり  
と更なる発展を期待しています。

### ●参加したメンバーの方々

島崎洋さん、小沼英二さん、  
平賀やよいさん、松本忠育さん、  
内野泰司さん、鈴木勝行さん、  
杉原行雄さん、小澤邦彦さん、  
内野育雄さん

市議会は市民の声を  
直接聞きに出かけます！

## 編集 後記

農業大学校跡地に緑と水辺  
の自然豊かな「太田ヶ谷の森」  
があります。

現在、この自然環境を保全  
していくために、環境ボラン  
ティアの方々が市と連携しな  
がら、植樹だけでなく、ホタ  
ルの放虫や夜の昆虫観察会な  
ど、自然を生かした様々なイ  
ベントなどを行っています。

都市化が進む一方で、農地  
や緑地、水辺など、武蔵野の  
原風景も残されている都市と  
自然が調和する暮らしやすい  
まち、鶴ヶ島。次世代の子ど  
も達のためにこうした自然環  
境を残していくことは、大切  
なことだと思います。

（広報広聴委員）

（内野）

委員長 小林ひとみ  
副委員長 今野雄一  
委員 太田忠芳  
委員 小川茂  
委員 村上信吉  
委員 福島恵美  
委員 高篠雅洋  
委員 内野嘉広



●議会への疑問、意見をお聞かせください！

# 市民と

# ギイン

議員

みなさんの声を市政に届けます。

# の懇談会

議会報告会2023テーマ

## 「防災・減災で、より安心・安全のまちづくり」



## と語ろう！



鶴ヶ島市は、災害が少ないまちと言われています。より災害の少ないまち、さらに災害のないまちにしていこうために、皆でいっしょに考えましょう。

日時: **11/19(日)** 10:00~12:00

会場: 鶴ヶ島市役所3階 議場

オンラインでも参加できます。  
市議会HPからアクセスください。



主催: 鶴ヶ島市議会  
問合せ: 鶴ヶ島市議会事務局 TEL049-271-1111 (内線 361)



昨年の市民と議員の懇談会の様子

令和4年度は「夢を語れる、子どもたちにやさしいまちづくり」をテーマに市役所議場と一部市民センター及び自宅参加者をオンラインでつなぎ、議会報告会を開催し、たくさんのご意見をいただきました。5年度は「防災・減災で、より安心・安全なまちづくり」をテーマに市役所議場とオンラインにより開催します。ぜひご参加ください。たくさんのご意見お待ちしております。

「市民と議員の懇談会」  
—議会報告会2023—